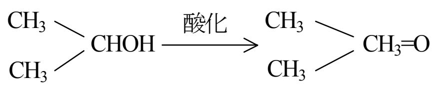
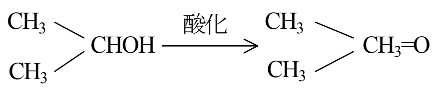
『化学職　パーフェクト演習講座　有機化学』(KU12785)

訂正表

2014年03月20日現在

<table>
<tr><th>ページ</th><th>訂正箇所</th><th colspan="2">訂正内容</th><th>掲載日</th></tr>
<tr><td rowspan="2">P. 1</td><td rowspan="2">No. 1
問題の肢㊇の化学式</td><td>誤</td><td>㊇　2-Ethyl-2-buten-1-ol　　CH_3-CH＝C-CH_2-OH
　　　　　　　　　　　　　　CH_2CH</td><td rowspan="4">2014/03/20</td></tr>
<tr><td>正</td><td>㊇　2-Ethyl-2-buten-1-ol　　CH_3-CH＝C-CH_2-OH
　　　　　　　　　　　　　　　CH_2CH</td></tr>
<tr><td rowspan="2">P. 54</td><td rowspan="2">No. 35
正解及び肢㋑と㊇の解説</td><td>誤</td><td>［№.　３５］　〈アルコール誘導体〉　正　解　４
㋐　×　　ホルムアルデヒドは酸性を示さない。
㋑　×　　ギ酸は弱酸性を示す。
㋒　×　　アセトアルデヒドで水に溶けやすいが酸性を示さない。
㊇　○　　酢酸である。
㋔　×
 
還元性なしで不適当である。
よって，正解は肢４である。</td></tr>
<tr><td>正</td><td>［№.　３５］　〈アルコール誘導体〉　正　解　２
㋐　×　　ホルムアルデヒドは酸性を示さない。
㋑　○　　ギ酸はカルボン酸だがその構造中にアルデヒド基をもつため還元性を示す。また，その水溶液は酸性を示す。したがって，性質①および②を共に示す。
㋒　×　　アセトアルデヒドは水に溶けやすいが酸性を示さない。
㊇　×　　酢酸はアルデヒド基をもたず還元性を示さない。
㋔　×
 
還元性なしで不適当である。
よって，正解は肢２である。</td></tr>
</table>

※「掲載日」は，上掲訂正情報がＬＥＣホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(http://www.lec-jp.com/koumuin/kaitei)に掲載された日付です。